

VALUE BOOK

第44期 中間報告書 2018年3月1日～2018年8月31日

「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」



LAWSON

株式会社 ローソン
〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号
TEL 03-6635-3963
<https://www.lawson.co.jp/>

2018年11月発行
© 2018 Lawson, Inc. All rights Reserved.



本報告書に記載されている当社グループの現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の実績などに関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績などは、さまざまな要因の影響を受け、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

企業理念・ビジョン・行動指針

当社は、「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」という企業理念のもとに、事業活動を行っております。

企業理念のもとに当社が目指すべきゴールイメージを明確化したビジョンを掲げるとともに、ビジョンを実現するための行動指針を定めています。

企業理念

私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

ビジョン

実行一流企業へ。

全員でお客さまのニーズと変化を考えぬき、スピードをもって実行し、マチの暮らしにとって、なくてはならない存在になります。

行動指針

- ① お客さま、マチ、お店を起点に考えます。
- ② 基本を徹底し、革新に挑戦します。
- ③ 仮説、実行、検証の質とスピードを高めます。
- ④ 規律のもとで自律し、チームでやりぬきます。
- ⑤ 自己の成長を求め、仲間の成長を支えます。

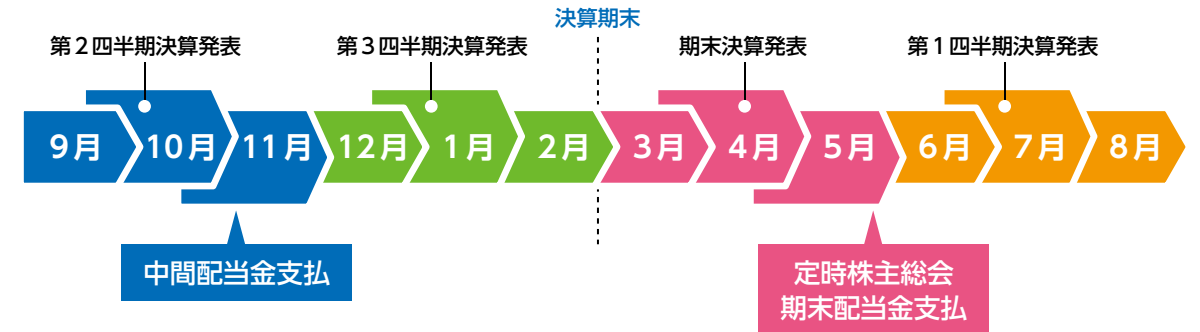
連結業績ハイライト (単位:億円)

	チェーン全店売上高		営業総収入		営業利益	
	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期
前 期	11,485	22,836	3,294	6,573	389	658
当 期	12,245	24,500*	3,519	7,220*	344	600*
前年同期比	6.6%増▲	7.3%増*▲	6.9%増▲	9.8%増*▲	11.5%減▼	8.8%減*▼

	経常利益		四半期(当期)純利益		1株当たり配当金(円)	
	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期	中 間	期 末
前 期	384	651	236	268	127.5	127.5
当 期	335	570*	179	280*	127.5	127.5*
前年同期比	12.8%減▼	12.5%減*▼	24.1%減▼	4.4%増*▲	増減なし→	増減なし*→

*は予想です。

IRカレンダー



■ 2018年度中間期の業績について

当社は、当中間期におきましても、企業理念である「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」の具現化を目指し、事業活動を展開してまいりました。

国内コンビニエンスストア事業の第2四半期における出退店は、出店が525店、閉店が177店の348店舗純増となり、2018年8月末での店舗数は、14,340店舗となりました（なお、2018年8月末における海外店舗数は、中国における店舗数拡大もあり296店舗純増の1,892店舗）。これらの店舗数純増もあり、連結チェーン全店売上高は、1兆2,245億円（前年同期比106.6%）、連結営業総収入は3,519億円（同106.9%）と、それぞれ前年を上回る結果となりました。

しかしながら、業態の垣根を越えた競争激化や7月の西日本を中心とした記録的な大雨などの天候要素の影響等により、国内ローソン事業の既存店売上高は前年比99.2%（チケット・ギフトカード等の影響を除いたベース）と前年をやや下回る結果となりました。利益面では、持続的成長に向けた新規事業への先行投資や次世代システムへの投資のほか、夕夜間強化のための広告宣伝費や加盟店への廃棄ロス支援といった経費が増加したことにより、当中間期の連結営業利益は344億円と前年同期比で下回りましたが、システムコストなどの経費削減に加え、予定していた販促施策の実行時期を下期に見直したことなどにより、計画に対しては上回りました。



代表取締役 社長

竹増 貞信

Profile

竹増 貞信
（たけます さだのぶ）
1969年生まれ。三菱商事株式会社入社、広報部、総務部兼経営企画部長業務秘書などを経て、2014年当社入社、副社長。2016年6月代表取締役 社長に就任、現在に至る。

品やミールキットなどの食材を朝にスマートフォンでご注文いただけますと、夕方ローソンの店舗にてお受け取りできる「ローソンフレッシュピック」を首都圏中心に約700店舗まで展開を拡大いたしました。今年度中には首都圏の約2,000店舗への拡大を予定しております。

次世代システム投資の取り組みでは、自動釣銭機付きの新しいPOSレジの導入を進めました。8月末までに約4,500店舗での設置が完了しており、今年度中に全店導入となる計画です。人手不足が深刻化するなかで店舗オペレーションのさらなる効率化、生産性の向上を目指してまいります。

また、さらなる成長へのチャレンジとして金融事業への参入を進めており、株式会社ローソン銀行が、金融庁より8月10日に銀行業の営業免許を取得し、10月15日にお客さま向けサービスを開始しました。開業当初のサービスとしては、基盤であるATM事業はさらなる利便性の向上を図るとともに、預金やクレジットカード、インターネットバンキング等のリテール事業を行ってまいります。ローソングループに、ローソン銀行を通して広範な金融サービス提供の可能性が加わることにより、マチの暮らしになくてはならない金融サービスを提供してまいります。

■ ダイバーシティ(多様性)の推進について

これらの取り組みを着実に実行し、持続的な成長につなげるためには、多様な人材が最大限に能力を発揮できる環境が重要です。ローソンは、ダイバーシティ推進体制を整え、誰もが働きやすい環境整備に取り組んでおります。たとえば、女性が活躍し続けられる会社にするために育児休暇等の制度に加え、選抜型のリーダーシップ研修を実施しているほか、男性社員の育児休暇取得を奨励するなど、働き方の多様性への対応も進めています。2018年7月には、厚生労働大臣より次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく特例認定「プラチナくるみん認定^{※1}」を受けました。引き続き、ダイバーシティの推進だけでなく、労働環境改善や生産性の高い働き方へのチャレンジなどに取り組んでいきます。

■ 利益計画・配当について

今年度は、将来に向けた投資期間と位置づけており、連結営業減益の計画となっておりますが、期初に掲げた600億円の計画は変更しておりません。また、年間配当金につきましても、期初計画どおり1株当たり255円（うち、中間配当金127.5円）を予定しております。株主・投資家の皆さまにおかれましては、引き続き当社の経営戦略にご理解とご支援をいただきますよう、何卒よろしく願いいたします。

※1：「くるみん認定^{※2}」を受けた企業のうち、仕事と家庭の両立を支援する制度の導入や利用が進み、高い水準の取り組みを行っている企業が認定されるもの。
※2：「子育てサポート企業」として、次世代法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を厚生労働大臣が認定するもの。

■ 現在進めている重点施策について

2018年度は「1000日全員実行プロジェクト」の最終年度です。これまで築き上げた土台をベースに、商品力・売場力・新店力の強化を進めるとともに、生産性向上のための次世代システム構築や、持続的な成長に向けた事業基盤の確立にも取り組んでおります。

上期は、おにぎりのリニューアルや、野菜をたっぷり取り入れた「もっと！野菜」シリーズの弁当・麺類の販売など、コンビニエンスストアのコア商品であるおにぎり・弁当の強化を図りました。カウンターファストフーズでは、ロングセラー商品である「からあげクン」が累計販売数30億食突破記念としてのセールを実施したほか、夕方から夜にかけての惣菜の品揃えを強化いたしました。さらに、デザートカテゴリーでは、引き続きGODIVA社とのコラボ商品販売に取り組まれました。また8月には、働く女性の強い味方として、生鮮食

夕夜間のメニューに注力!

食卓をおいしくサポートします～夕食向けのおかず惣菜を強化～



ローソンが、カウンターファストフードへの取り組みをスタートしたのは、1986年の「からあげクン」からです。カウンター内で仕上げ、保温ケースを設置してのファストフード販売は、当時のコンビニエンスストア業界では画期的なことでした。工夫を重ねた味わいについても、長年多くのご支持をいただいております。現在に至ります。

2010年より、ご家庭での食事でメインの一品になる揚げ物の惣菜メニューを本格展開し、現在では約20種類の惣菜を販売しています。「おかずコロッケ」や「おかずメンチ」などの揚げ物惣菜は、16時から23時の夕夜間を中心に、主に20代から50代の女性にご好評いただいております。

(Pontaカードの購買データ調べ：2018年6月～2018年7月)

北海道産の男爵いも、玉ねぎ、小麦粉、牛肉を使用!



おかずコロッケ (北海道コロッケ)
ローソン標準価格：80円(税込)

北海道産玉ねぎと牛肉を100%使用したこだわりのおいしさ!



おかずメンチ (北海道産玉ねぎの牛肉メンチカツ)
ローソン標準価格：100円(税込)



豚肉の本格中華春巻
ローソン標準価格：108円(税込)



鶏から4個各種
ローソン標準価格：各200円(税込)

ローソンは今後も、お客さまの“食卓”を“おいしく”サポートする商品を発売してまいります。



ふっくらあじフライ
ローソン標準価格：140円(税込)



大きなイカフライ
ローソン標準価格：127円(税込)

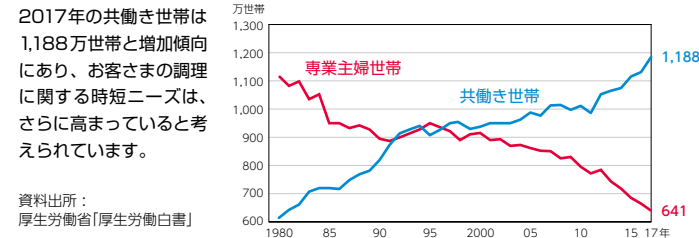


「でか焼鳥」各種 (ももダレ・もも塩・かわタレ)
ローソン標準価格：各127円(税込)

“こだわりの味”をもっと身近に

カウンター内で仕上げる、素材と味にこだわったファストフード惣菜は、家庭で楽しむ夕食にぴったり。長年の経験と研究から生み出されるおいしさをさらに追求し、今後もますますラインナップを進化させていきます。

専業主婦世帯と共働き世帯 (1980年～2017年)



資料出所：厚生労働省「厚生労働白書」

PICK UP

2018年度版おでん販売中

2018年8月7日(火)より、全国のローソン店舗で、2018年度版のおでんの販売を開始しました。「豚トロ串」(税込120円)などの串おでんや、「つくね団子(卵黄風ソース入り)」(税込110円)などの見た目と味にこだわった新商品を発売。具材の旨みをより引き出すためにおでんつゆの製法を見直し、各地域の嗜好にあわせた全国9種類のつゆをご用意しました。また、おでんつゆがより染みやすく、絡みやすくするために定番具材の製法を見直しました。

ローソンのおでんは、16時から23時の夕夜間の販売数が約6割と高く、揚げ物惣菜やカット野菜、お酒などと一緒に、幅広い年代のお客さまに夕食やおつまみ用にご購入いただいております。

(Pontaカードの購買データ調べ：2017年8月～2017年9月)



Uchi Café × GODIVA コラボ商品 “歳時スイーツ” 発売

古来より大切にされてきた四季折々のすばらしい歳時を楽しんでいただくために、チョコレートの「GODIVA」とスイーツの「ローソン」が、特別なひとときを演出します。



7月5日(木) 発売 ローソン標準価格：1,080円(税込)

「七夕」をテーマとして、和のテイストを盛り込んだ新感覚のショコラスイーツです



9月21日(金) 発売 ローソン標準価格：900円(税込)

ショコラとマロンショコラ、2つのテイストをセットにしたひと口サイズの大福です

※上記の商品は販売を終了しています。

第2四半期連結損益計算書のポイント (単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2017年3月1日~2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (2018年3月1日~2018年8月31日)	増減率
(チェーン全店売上高)	(1,148,545)	(1,224,510)	6.6%
営業総収入	329,402	351,973	6.9%
売上原価	90,077	99,661	10.6%
営業総利益	239,325	252,312	5.4%
販売費及び一般管理費	200,380	217,827	8.7%
営業利益	38,945	34,485	△11.5%
経常利益	38,456	33,536	△12.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,644	17,942	△24.1%

ポイント

1

店舗数が増加したことなどにより、営業総収入が増加

国内コンビニエンスストア事業の店舗数の増加で加盟店からの収入が増加したことなどにより、営業総収入は前年同期に比べ6.9%増の3,519億73百万円となりました。

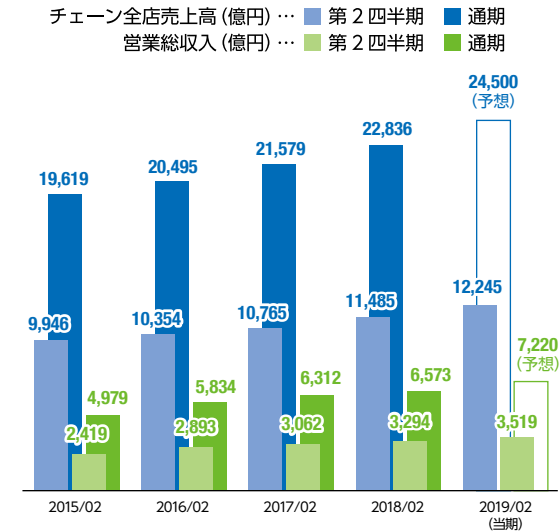
ポイント

2

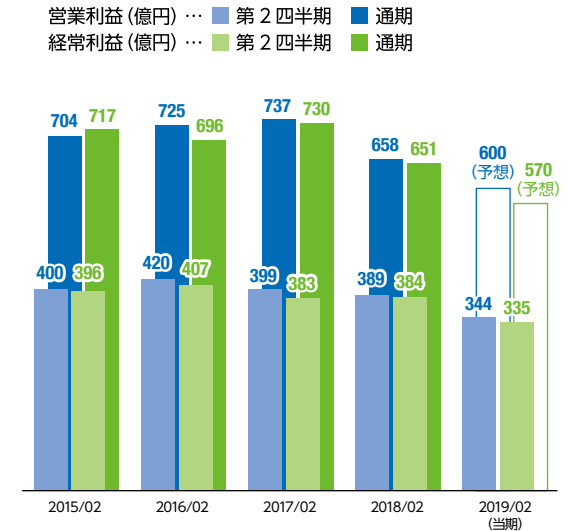
持続的成長に向けた先行費用の増加が営業総収入の増加を上回り、営業利益は減少

店舗数増加により営業総収入が増加しましたが、新規事業や次世代システムへの投資関連・夕夜間強化・FC(フランチャイズ)加盟店支援の費用増加などもあり、営業利益は前年同期に比べ11.5%減の344億85百万円となりました。

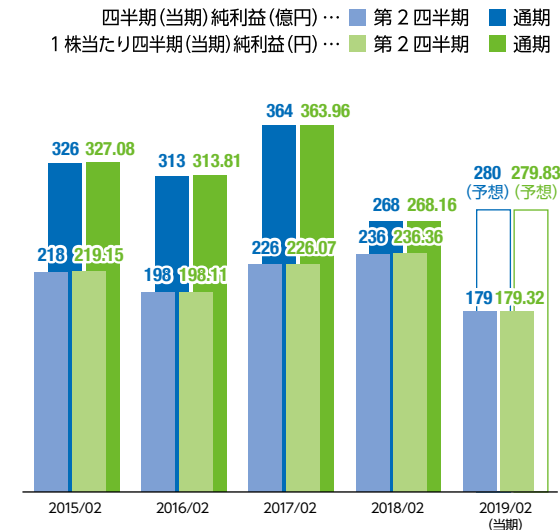
チェーン全店売上高・営業総収入



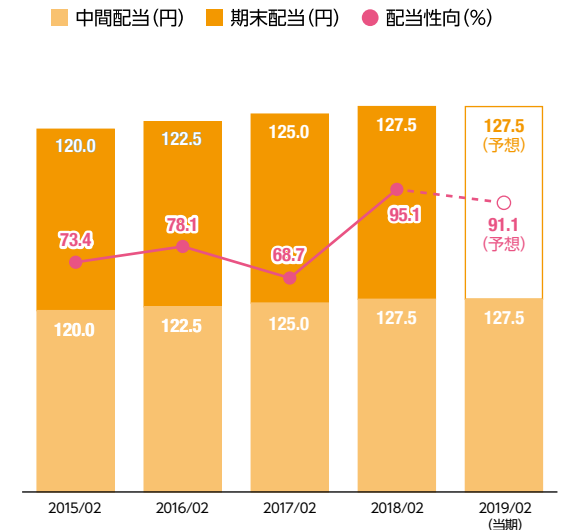
営業利益・経常利益



四半期(当期)純利益・1株当たり四半期(当期)純利益



配当金と配当性向の推移



第2四半期連結貸借対照表のポイント (単位:百万円)

	前期末 (2018年2月28日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2018年8月31日現在)	増減額
流動資産	231,860	263,795	31,934
固定資産	668,395	696,965	28,569
有形固定資産	349,935	364,070	14,135
無形固定資産	100,197	106,824	6,626
投資その他の資産	218,262	226,070	7,807
流動負債	379,222	430,119	50,896
固定負債	239,587	242,442	2,855
純資産	281,446	288,198	6,752
総資産	900,256	960,760	60,504

ポイント

1

有形固定資産の増加などにより総資産が増加

主に店舗数の増加による有形固定資産の増加や取引量増加による未収入金の増加などにより、総資産が前期末に比べ605億4百万円増加し、9,607億60百万円となりました。



より詳細な財務情報をご希望の方は、当社ウェブサイト「IR情報」をご覧ください。

<https://www.lawson.co.jp/company/ir/>

ローソン IR 検索

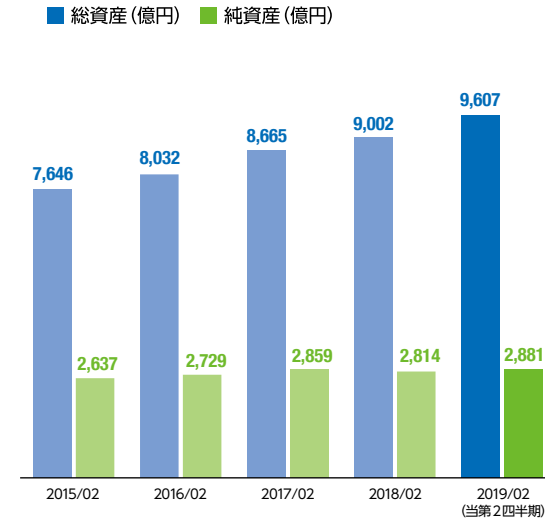
ポイント

2

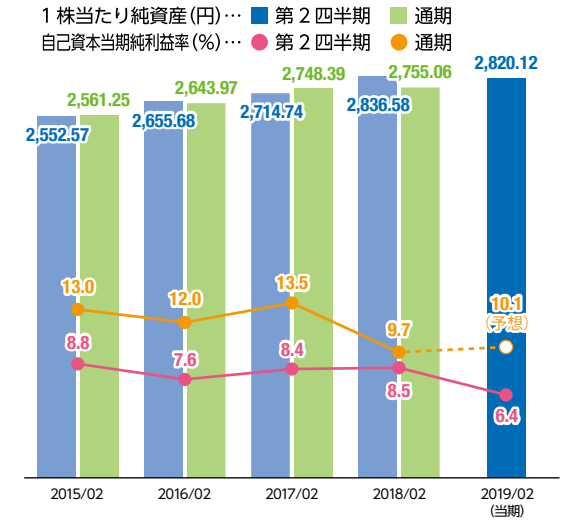
買掛金や未払金の増加などにより負債が増加

2月と8月の営業日数の差異による買掛金の増加や、取引量の増加による未払金の増加などにより、負債が前期末に比べ537億52百万円増加し、6,725億61百万円となりました。

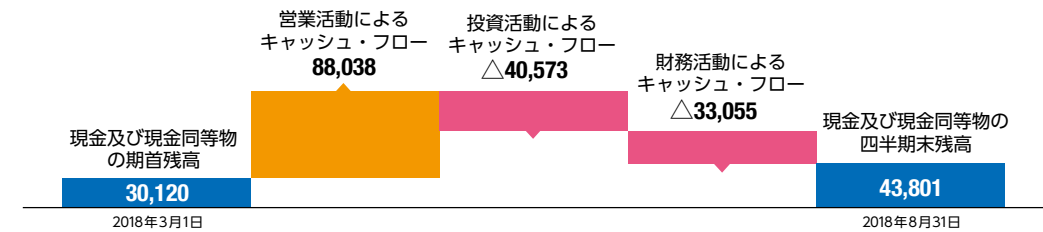
総資産・純資産



1株当たり純資産・自己資本当期純利益率(ROE)



第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書のポイント (単位:百万円)



現金及び現金同等物に係る換算差額及び連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額については記載を省略しています。それにより生じるグラフの誤差については調整しています。

ポイント

1

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ311億6百万円収入が減少し、投資活動によるキャッシュ・フローは、長期前払費用の取得による支出の減少などから、前年同期に比べ38億66百万円支出が減少しました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に前年同期の短期借入金の返済の反動により、前年同期に比べ339億52百万円支出が減少しました。

ローソン銀行開業——10月15日よりサービス開始

株式会社ローソン銀行が、2018年8月10日に銀行業の営業免許を取得し、10月15日にお客さま向けサービスを開始しました。

基盤のATM事業については、提携行等の拡大、ローソン店舗外へのATMの設置推進などにより、お客さまの利便性向上を進めてまいります。リテール事業では、開業当初は、預金やクレジットカード、インターネットバンキング等を順次実施していきます。さらに、数年をめどに既存の事業基盤を活用した新たな決済手段や、生活に必要な金融サービスの展開を検討してまいります。

ローソン銀行が目指すのは「コンビニ・バンキング」。いつでも簡単に、誰でも安心して、やりたいことがすぐできる。そんな、お客さまに一番近い銀行になりたいと考えています。

株式会社ローソン銀行の概要

商号	株式会社ローソン銀行 (英文名称：Lawson Bank, Inc.)
代表者	代表取締役会長 岩下 正 代表取締役社長 山下 雅史
本店所在地	東京都品川区大崎二丁目1番1号
資本金	116億円
株主	株式会社ローソン(95%) 株式会社三菱UFJ銀行(5%)
銀行開業日	2018年9月10日
お客さま向けサービスの開始日	2018年10月15日
事業概要	・ATM事業 ・リテール事業
従業員数	135人(2018年8月31日現在)

より詳細な情報は、ローソン銀行ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.lawsonbank.jp/>

レジに並ばずスマホを使って店内どこでも時短決済! 「ローソンスマホペイ」導入店舗拡大

「ローソンスマホペイ」はお客さま自身のスマートフォン(以下、スマホ)で商品情報を読み取り、スマホ上で決済するというもので、ローソン公式アプリをスマホにダウンロードしておけば、購入する商品についているバーコードをスマホのカメラで読み取るだけで、店内のどこにいても会計が完了します。一部商品*の購入を除くと、レジを通る必要はなく、退店時にスマホに表示されたQRコードを専用読み取り機にかざせば、決済済みであることが確認され、電子レシートも表示されます。すでに上海の全店舗で活用されており、国内では2018年4月から東京都心部3店舗で実証実験・利用状況等の検証を行っています。9月以降、大都市圏の店舗を中心に導入規模を拡大し、2018年度内には100店舗に導入される予定です。

*カウンターファストフードや、年齢認証が必要な酒・たばこ類等



「ローソンスマホペイ」決済の流れ

食材ラクラクお店に届く「ローソフレッシュピック」サービスエリア拡大中

「ローソフレッシュピック」は、スマートフォンの専用アプリを使って朝8時までに商品を注文すると、当日18時以降*に指定のローソン店舗で商品を受け取るサービスです。

取扱商品は新鮮野菜や果物、専門店の本格食材やスイーツ、手軽に調理ができるミールキットなど幅広く、2018年3月のサービス開始以降、特に30代から40代の女性を中心に大好評いただいています。8月末時点で東京都・神奈川県約730店舗が対象ですが、サービスエリアの拡大を図り、2018年度中には首都圏約2,000店舗への拡大を計画しています。

*商品が店舗に到着している場合、15時以降に受け取りが可能です。



ローソンの社会貢献活動——“子どもたち”と“緑”への支援

ローソンは、2017年7月に「夢を応援基金(ひとり親家庭支援奨学金制度)」を創設し、ひとり親家庭の子どもたちが「進学したい」という夢をあきらめずにすむよう、店頭での募金活動を開始しました。中学3年生から高校3年生までの400名に対して、月額3万円の奨学金(返還不要)を給付しています。

また、奨学金制度とは別に、ひとり親家庭の母子を対象に、森林体験を通して自然への興味・関心を育みながら、社会性やコミュニケーション力を養っていただくことを目的とした環境教育プログラムを実施しています。今年の夏には、東京都内在住の母子10組20名を含む総勢32名が、山梨県の小菅村で、多摩川の源流体験やキャンプファイヤー、ヒノキの間伐、切った木を活用したスプーンづくりなどを行いました。

ローソンはこれからも、“子どもたち”と“緑”への支援を継続してまいります。



多摩川の源流体験の様子

会社概況 (2018年8月31日現在)

会社概要

社名	株式会社ローソン
所在地	〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号 TEL.03-6635-3963
設立	1975年4月15日
資本金	585億664万4千円
決算期	毎年2月末日
配当基準日	毎年2月末日、8月末日
社員数	4,635人(単体)
事業内容	コンビニエンスストア「ローソン」「ナチュラルローソン」及び「ローソンストア100」のフランチャイズチェーン展開

役員

代表取締役社長	竹増 貞信
取締役	今田 勝之
取締役	中庭 聡
取締役(社外)	大園 恵美
取締役	京谷 裕
取締役(社外)	林 恵子
取締役	西尾 一範
取締役(社外)	岩村 水樹
常勤監査役(社外)	高橋 敏夫
常勤監査役	郷内 正勝
監査役(社外)	小澤 徹夫
監査役(社外)	辻山 栄子

グループ企業

主な子会社

(株)ローソン山陰
(株)ローソンストア100
(株)SCI
(株)ローソンアーバンワークス
(株)成城石井
(株)ローソンエンタテインメント
ユナイテッド・シネマ(株)
羅森(中国)投資有限公司
上海羅森便利有限公司
上海樂松商貿有限公司
上海恭匯貿易有限公司
浙江羅森百貨有限公司
重慶羅森便利店有限公司
大連羅森便利有限公司
羅森(北京)有限公司
北京羅松商貿有限公司
Saha Lawson Co., Ltd.
(株)ローソン銀行
(株)ベストプラクティス

主な関連会社

(株)ローソン沖縄
(株)ローソン南九州
(株)ローソン高知

当社ウェブサイトからも

さまざまな情報をご覧ください。



<https://www.lawson.co.jp/>

株式情報 (2018年8月31日現在)

株式の状況

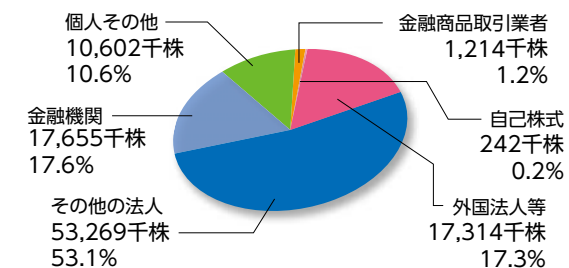
発行可能株式総数	409,300千株
発行済株式の総数	100,300千株
単元株式数	100株
株主数	36,994名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1. 三菱商事株式会社	50,150	50.1
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,759	3.8
3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,567	3.6
4. 株式会社NTTドコモ	2,092	2.1
5. STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,537	1.5
6. THE BANK OF NEW YORK 133972	1,422	1.4
7. JP MORGAN CHASE BANK 380655	1,296	1.3
8. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,147	1.1
9. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	962	1.0
10. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	895	0.9

*上記の持株比率は、自己株式242,568株を控除して算出しております。

所有者別分布状況



株主名簿管理人の連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式のお手続きについてのご注意

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求、配当金振込口座の指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。
- 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行でお支払いいたします。

公告の方法

電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

● 公告掲載のURL

<https://www.lawson.co.jp/koukoku/index.html>